



服装自由化30周年

校長 渋谷 正宏

令和4年10月11日（火）11時、校長室に、富士見丘小学校の2年生7人が『町たんけん』の授業でやって来ました。自己紹介をしてもらい、こちらから「好きな食べ物」や「どんな習い事をしているか」などの質問をした後、7つの質問に答えました。

そのうちの「なぜ、制服がないのですか。」という質問に答えるために、40周年、50周年の記念誌を調べてみると次のようなことがわかりました。

平成4年（1992）11月に、学校とPTAとが幾多の検討を経て「服装の自由化」つまり「私服」が学校主導で実施されました。

創立40周年（1994）記念パネルディスカッションの記録から、当時の教員、保護者、生徒がどんなことを考えていたかを抜き出してみます。

【教員の考え】

「生徒が何も考えず制服を着てきて、何も考えず授業を受けているが、決まったことはできても自分からは動けない、これは、僕等と親の責任かなと、つまり子供たちが失敗する場を奪ってきたと思いました。」

「服装は自分を表現する手段でもあり、そこが規制されるのは自分の気持ちが表せない、自由さがあっていいだろうと思います。」

【保護者の意見】

「衣食住の中で衣に関して、娘が自分で判断していくことを学んだことが私服化になって良かったと思うところです。」

「服装の自由化は、自分で考え、行動していく力を付けるためのものと考えています。」

【生徒の意見】

「授業に差し支えなければ、私服であろうと制服であろうと良いと思います。」

「私服は自由だから制服の学校に行った時に厳しそうで大変かなという不安もあります。」

創立50周年記念誌に、制服自由化の3年後に着任された第12代齋藤校長先生の祝辞に次のような一節がありました。

着任の年（1995年）の入学式。生徒会長の歓迎のことばの中で、「本校には校則がありません。服装も自由です。だからと言って、私達が規律のある生活をしなければ、先生方は規則を作ってしまう。先輩が作り上げた大切な伝統をみんなで守っていきましょう。」と力強く訴えます。

同じく50周年記念誌の当時（2004年）の第14代渡邊清美校長の挨拶に次の一節があります。

生徒たちは「私服」であることと、その背景にある「自由とけじめ」の伝統を代々受け継いでおり、この「自由とけじめ」は本校の大きな特色であり、精神的な支えとなっています。

平成4年（1992年）に本校の服装の自由化が始まって、令和4年（2022年）の今年は、ちょうど30年目の節目の年でした。富士見丘中学校がなぜ私服の学校なのか、小学生の素朴の質問から、偶然にも30年前の歴史を紐解くことができました。

令和4年（2022年）10月20日は、68回目の開校記念日です。2年後の創立70周年にどんなメッセージを残すのか。伝統を引き継ぎ、そして伝統を築いていくのは皆さんです。

69回目の開校記念日には、現校舎はありません。

令和4年度広島平和学習中学生派遣事業・報告会

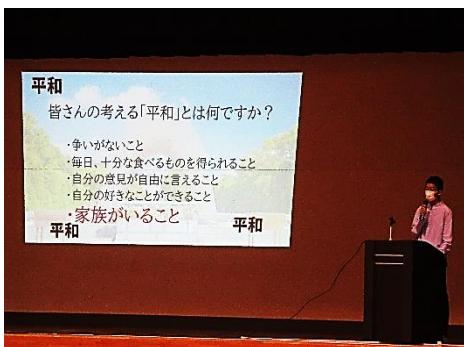
私は八月五日から七日の三日間、広島に行き平和について学んだ。今回の派遣で私が重視した、被爆者体験講話。七歳の時に被爆した山本玲子さんに話を伺った。

「皆さんが見ているようなアニメの中では、人は死んでもまた生き返る。でも、決してそんなことは起きない。だから、自分の命だけは大切にしてほしい」山本さんが最後におっしゃった言葉だ。被爆者の平均年齢は約八十五歳と高齢化は年々進んでいる。もう本人たちの話を聞くことは

難しくなっている。

では、誰が被爆者の思いを受け継ぎ、継承していくのか。私たちだ。現地の中高生と意見交換をしていると頻繁に出るのがネットを活用するという意見。しかし、本当にそれでいいのか。広島に行った目的は、生の声を聞くことではなかったのか。実際に聞いてみることの重要性が分かったのに、そんな簡単な方法でいいのか。この問題に答えはない。時間をかけて考えていく必要があると思った。

(2年・代表派遣生徒)



3年生・赤ちゃんふれあい体験

令和4年9月29日

9月29日、子育てネットワークの皆さま、高井戸子育てネットばおの皆さまのご協力のもと、3年生のために「赤ちゃんふれあい体験（中学生が赤ちゃんに会える日）」が3年ぶりに開催されました。コロナ禍にもかかわらず、24家庭のママさん、パパさんが赤ちゃんを中学校に連れてきてくださいました。視聴覚室にピンクやブルーのマットがひかれ、月齢4ヶ月～10ヶ月の赤ちゃんが抱っこされて登場すると、そこはもう中学校ではなくて子ども部屋です。

その間、体育館に集合した3年生は、代表生徒が妊婦シミュレーターを着用して妊婦体験をし、全員が沐浴人形を使って抱っこの練習をしました（写真上）。そしていよいよ、赤ちゃん登場。ママさんパパさん達の自己紹介の後、6グループに分かれて交流会。感染症対策でグループ活動は15分以内としていました。まずは質問、エコー写真を見せていただいたり、体験談を伺ったり。そして赤ちゃんの足や手をツンツンと触らせて頂くと、徐々にママさん達から赤ちゃんを抱っこさせてくださるグループができました。

赤ちゃんを抱っこする中学生（中には涙する生徒もいました）、抱っこされている赤ちゃん、赤ちゃんを中学生に任せるママ、PTA 役員の中学生のママ、運営に関わった大勢のおとな、その場に居合わせたみんなが笑顔でした。朗らかで平和で、なんとも居心地の良い空間でした。

この行事に携わってくださった関係者の皆さま、そして、中心となってこの行事を再開してくださった高井戸児童館の金子館長さまに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



「全員が主役の運動会」



雲一つ見られない快晴の空のもと、10月22日に令和4年度富士見丘中学校運動会が行われました。



毎日、行事委員が中心となって活動が進められ、一致団結して仲間と共に1つの目標に向かって助け合うことや切磋琢磨しあうことで大きく成長しました。また、生徒自らの手で運動会を創りあげようとする気概が感じられました。



各学年、練習を重ねるごとに全員が全力で取り組む姿が見られ、当日は予行をはるかに超えた演技が見られました。



1年生にとっては中学校での初めての運動会でしたが、徐々に富士見丘中の運動会の雰囲気を感じ取り、当日は思いっきり楽しんでいる姿が見られました。2年生は全員リレーや学年種目において学級が一つにまとまった姿を感じることができました。3年生はすべての活動において気持ちの入れ方が下級生とは違い、気迫さえ感じました。



どの学年も最高かつ感動の運動会を創り上げてくれました。「一人一人が主役として輝かく」まさに、生徒のたちの本気の姿をみた1日でした。



11月の行事予定

月	日	曜日	行	事	
11 月	1	火	進路面談（3年）	持久力向上月間始	
	2	水	進路面談（3年）	6時間授業（1・2年）	
	3	木	文化の日		
	4	金	子供を笑顔にするプロジェクト（1・2年）②・（3年）③	午後カット 【HST花植え】	
	5	土			
	6	日			
	7	月	学年朝礼（2年）		
	8	火			
	9	水			
	10	木	B時程	評議会 昼学活・昼清掃	〔定期考査前自習室〕
	11	金	5時間授業	理科出前授業・移動プラネタリウム（3年）	〔定期考査前自習室〕
	12	土	B時程	土曜授業（総合：貢献学習）	学年保護者懇談会
	13	日			
	14	月	生徒朝礼		〔定期考査前自習室〕
	15	火	安全指導		〔定期考査前自習室〕
	16	水			〔定期考査前自習室〕
	17	木	第3回定期考査（英語・音楽・技術家庭）		
	18	金	第3回定期考査（国語・社会・保健体育）		
	19	土			
	20	日			
	21	月	第3回定期考査（数学・理科・美術）		
	22	火	避難訓練（不審者対応訓練）		
	23	水	勤労感謝の日		
	24	木			
	25	金			
	26	土			
	27	日		(ESAT-J)	
	28	月	全校朝礼	地域清掃 pm（小中連携）	
	29	火			
	30	水			※【 】は学校支援本部 JOINT の関連事業です。



何とよびますか？

- ① 乳母車
- ② ベビーカー
- ③ バギー

75%が②のベビーカーと答えました。では、英語で baby car ですか？いいえ、baby cart、または、stroller です。ベビーカーは和製英語です。

11月は持久力向上月間です。放課後、2学年ずつ校庭で縄跳びに取り組みます。運動会練習で鍛えた身体に持久力をつけるのが目的です。また、11月は貢献活動にも取り組みます。学校全体では28日に地域清掃を行います。富士見丘小・高井戸小・富士見丘中が一緒に行います。コロナ禍なので、接触を控えるために3校が異なる場所を同一日に清掃する予定です。本校は、1年が昭栄公園、2年が高井戸公園、3年が浴風会の清掃に取り組みます。